

採用1・2年目に受講する研修内容

農林漁業信用基金では採用1年目から複数の研修を行っています。ここに記載されているのは採用から2年目までですが、それ以後も経験年数や役職等に対応した様々な研修を行っています。※〔 〕内は各研修等の講師を記載しています。

採用1年目

新規職員研修〔研修会社の講師〕 2日間

社会人の心構え、名刺の渡し方、電話の取り方などのビジネスマナー
(社会人経験者を除く)

新規職員研修〔信用基金の職員〕 2日間

社内のサービス・給与等の各種制度やコンプライアンス、ITリテラシー（ITを適切に活用するための基礎的な知識・技能）等

新規職員研修〔農林水産省の職員〕 1日間

農林水産業の現状と課題、農林漁業の保証保険制度等

合同初任者研修〔中央三団体職員〕 3日間

中央三団体（全国農業信用基金協会協議会、全国農協保証センター、農林漁業信用基金）の業務概要、現地視察等

採用2年目

社内実務基礎研修〔信用基金の職員〕 4日間

農業信用保険業務・林業信用保証業務・漁業信用保険業務・農業保険関係業務・漁業災害補償関係業務・経理業務等の基礎

全職員(採用1・2年目を含む)

ハラスメント研修〔研修会社の講師〕

セクシャルハラスメントやパワーハラスメントの防止等

コンプライアンス研修〔研修会社の講師〕

法令や倫理等の遵守等

情報セキュリティ・個人情報保護研修〔信用基金の職員〕

情報セキュリティ上の注意点や個人情報保護のためすべき点等

実際に業務をする時のやり方
などを具体例を用いながら
学ぶことができます。

資格取得助成も
行っています
(日商簿記や
ITパスポートなど)